

ICANN73 ccNSO関連報告

第63回ICANN報告会
2022年4月26日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)
高松 百合 takamatsu@jprs.co.jp

基本情報

- ccNSO（国コードドメイン名支持組織）

- 正式名称：

Country Code Names Supporting Organisation

- ICANNにおける位置づけ

- ICANNの活動を支える支持組織の一つ。
- ccTLDレジストリの連合体としてICANNの他支持組織や諮問委員会などと協調しながら、ccTLD全体にまたがるグローバルな課題についてポリシー案を作成し、ICANN理事会に勧告を行う。

- 会員数：172（世界にある250ccTLDのうち）

JPRSは、日本を表す「.JP」を運用するccTLDレジストリとしてccNSOに参加。

※JPRSからは遠藤淳、高松百合が参加

ccNSOに関連する主な会合

※ 下線のセッションが特にccNSOメンバ向けの内容です。

※ 本日は、以下の①と②についてご報告します。

3月7日(月)	Tech day
3月8日(火)	Joint Session: ccNSO & GAC <u>ccNSO DNS Abuse Session: ①</u> <u>ccNSO Governance Session: ②</u>
3月10日(木)	<u>Q&A with ccTLD-related ICANN Board</u> ccNSO Council Meeting

① ccNSO DNS Abuse Session

背景とこれまでの経緯

- 背景

- DNS Abuseに関する議論がICANNコミュニティ内外で活性化している状況を受け、ccNSO内でccNSOができることは何かという議論がはじまった

- これまでの経緯

- 「ccNSOがDNS Abuseに関してすべきことは何か」にフォーカスした議論を開始 (ICANN72～)
- 以降、ccNSO評議委員会が設置したAd-Hocグループにて検討を継続
- ccNSOとして取り組む内容に関するロードマップ及び Standing Committeeの案がICANN73直前にccNSOメンバに提示され、意見が募集された

ccNSOとして取り組む内容(案)

主なポイント

- ① Enhance Sharing of information (情報共有の仕組み/場の強化)
各レジストリでの活動を共有し合うプラットフォームとしての
ccNSOの機能の強化
- ② Messaging (ccTLDの特性の外部への発信)
様々なステークホルダー(GAC/政府、GNSO等)に向けた
ccNSOおよびccTLDコミュニティの特性(例: One size does
not fit all)に関する情報発信
- ③ DNS Abuse Standing Committee (実装に向けた委員会の設置)
取り組み内容の実現・実装に向け、具体的検討を実施
- ④ Metrics (ccTLDの状況を観測可能とするための取組実施)
ccTLDが各自の状況を把握するための方法(DAAR等)
を整理

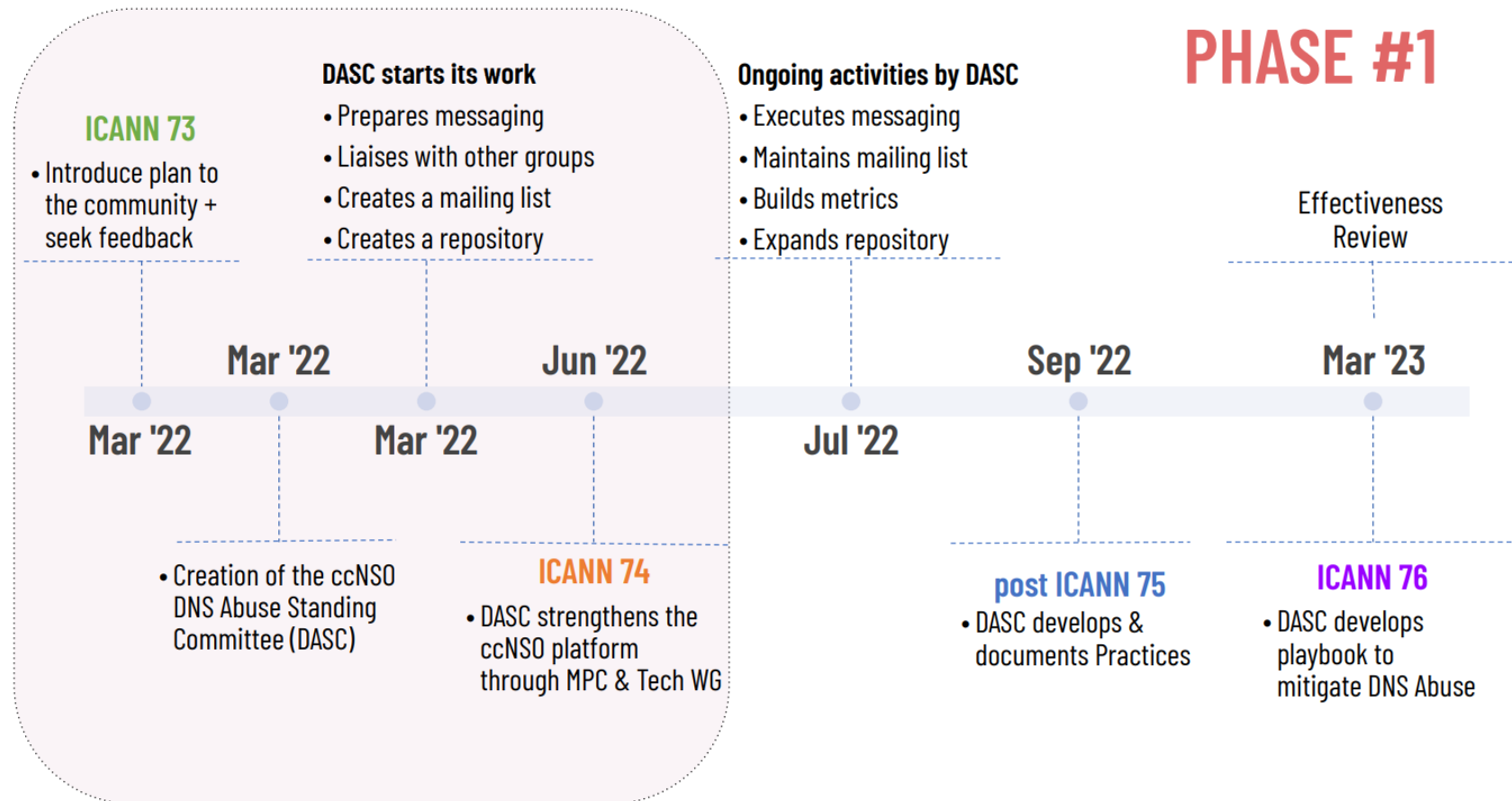
ICANN73での動き

概要

- ccNSOとして取り組む内容(案)をAd-Hocグループがセッション参加者に説明し、①～④に対する支持の程度の温度感を確認
 - セッション参加者であれば誰でも投票可能
 - 投票に参加しないセッション参加者も多数
 - 選択肢は Support, No Support, No Opinionの3つ
- ①～④いずれも、投票者の半数以上が支持
 - 「①Enhance Sharing of information」「②Messaging」は不支持なし
 - 一方で、「③ DNS Abuse Standing Committee」「④Metrics」は、内容の曖昧な部分に対する懸念を示すメンバーが見られた
- セッション後、ccNSO評議委員会にて、ccNSOとして取り組む内容(案)の実施を承認

今後のスケジュール

- DNS Abuse Standing Committeeの立ち上げ
に向けメンバー募集中 (期日: 2022年4月29日)



② ccNSO Governance Session

- 背景

- ccNSO運営関連のガイドラインを見直すGuideline Review Committee (GRC)が、ccNSO発足時に制定されたccNSOの運営ルールを、2022年現在の実情に即した形へ見直す必要性を認識

- 会員数は、ccNSO発足時は30（2004年3月）であったが、現在は172に増加

- ICANN73での動き →それぞれについて次スライドでご紹介

- (1) 運営ルールの改定案の紹介 及び 会員投票への参加呼びかけ実施

- (2) 利益相反に関する内部手続きの導入についての意見照会

ICANN73での動き(1/2)

(1) 新たな運営ルールについての紹介 及び 会員投票への参加呼びかけ実施

改定の主なポイント

・会員投票が有効となるための定足数の変更

総会員の50%以上かつ5つの地域からそれぞれ最低2会員以上から
総会員の33%以上かつ5つの地域からそれぞれ最低3会員以上へ

・初回の投票で定足数を満たさない場合の手順明確化

初回の投票で定足数を満たさなかった場合、14日後以降に2回目の投票を行うこと、
また、2回目も定足数を満たさない場合は、ccNSOが意思決定を棄権したと見なす
(=現状が維持されるものとする)ことを明記

⇒ 今回の改定に関する会員投票の成立には、ccNSO発足時に
定めたルールに基づき、総会員の50%以上の投票が必要

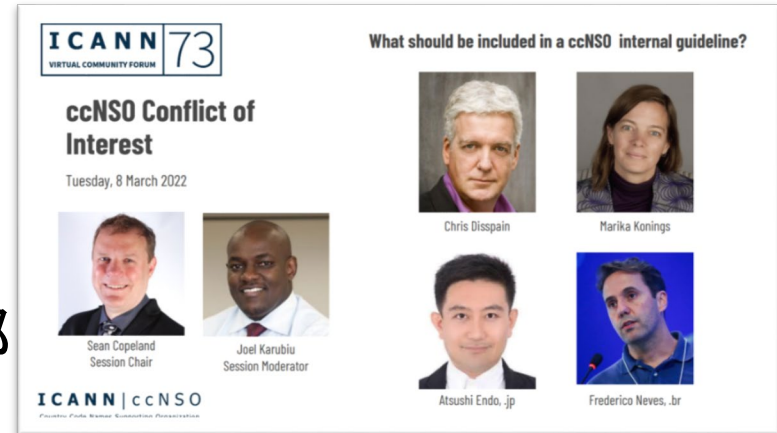
・ICANN73終了後に実施された、ccNSO会員による投票は、「定足数
(50%以上)」及び「採択に必要な賛成数(66%以上)」を超え、結果、
ルールが改定されることとなった

ICANN73での動き(2/2)

(2) 利益相反に関する内部手続きの導入についての意見照会

概要

- ICANN理事会及びGNSOで導入されている利益相反に関する内部手続きの共有 及び 共有内容に対するccTLDメンバ(※)による評論および意見交換を実施



(※) Frederico Neves氏(.br)と遠藤淳(.jp)が登壇

結果

- ccNSOでの意思決定の透明性向上を目的とした、利害関係の報告(Statement of Interest)の仕組み導入に関し、参加者から異論は出なかった
- ⇒ GRCの中に設置されたサブグループにて、具体的施策を検討後、ICANN74で議論予定

その他

ccNSO 執行部の新体制

- ChairおよびVice Chairが改めて選任された
 - ICANN73で5名 (AP/AF/EU/LAC/NAの各地域より1名) の評議委員が任期満了となったが、全員再任
 - 新たにVice ChairとしてAbediyi Oladipo氏を選任
 - ChairおよびVice Chairは評議委員会内で互選

Chair	Vice Chair	Vice Chair
Alejandra Reynoso (.gt: グアテマラ)	Jordan Carter (.nz: ニュージーランド)	Adebiyi Oladipo (.ng: ナイジェリア)

